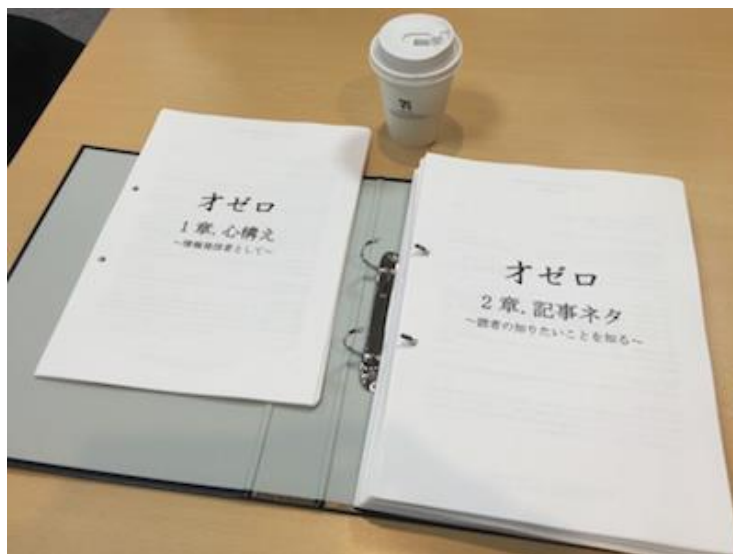


もしも、私のコピーライティング教材、
ミリオンライティングに“足りない要素”があるとしたなら
その全ては「この教材で」埋められるかもしれません

文才ゼロから始める Web 記事執筆術講座 “オゼロ”



私が「コピーライティングの教材」としてのクオリティに拘るあまり、
ある意味「疎か」にしてしまったのかもしれないゼロからの視点。
コピーライティングを1から学ぶ、これから学ぶという人達にとって
本当に必要だったものは、もしかすると“これ”だったのかもしれない。

ミリオンライティングが1からのコピーライティング教材なら、
それ以前の段階にあるスキルをゼロ視点から高める為の教材。

そんな教材を、私、宇崎のライティング講座付きでご紹介したいのですが。

こんにちは、宇崎です。

私が公開している「ミリオンライティング」という教材は、私自身、インターネット（ウェブ）に特化したコピーライティングの教材、テキストとしては、

「これ以上のコピーライティング教材は一般の書籍を含めても存在しない」

という自負を持って公開したものであり、その自負は今も変わっていません。

ただ、ここでご紹介する『オゼロ（文オゼロから始める Web 記事執筆術講座）』という教材は、そんなコピーライティングの教材とは、また違った視点。

文章を書くスキルをゼロから身に付け、それを高める為の教材として、私自身“文章を書く仕事をしているコピーライター”として、そして“文章の書き方を教示している者”として、非常に深い感銘を受ける素晴らしい教材内容になっていました。

「これは世に広めなければならない」

そのように感じたと言ってしまうと、あまりにも大袈裟に聞こえてしまうかもしれませんが、純粹に多くの人の手に取って欲しいと思った事は紛れも無い事実です。

少なくとも、私のブログやメールマガジン、そして「ミリオンライティング」を手にとって頂けているような方には、是非、手にして欲しい。

そして、その内容をしっかりと落とし込んで欲しいと思える、本当に素晴らしいライティング講座がその教材内で展開されていました。

そこで、今回は出来る限りこの「オゼロ」という教材を多くの人の手にとってもらう為、その「ご紹介」を前提とする、このような案内資料をご用意させて頂いた次第です。

ちなみに、私がこのような形で教材（情報商材）を大々的にご紹介するのは、ほぼ「始めて」の事ですので、

“この「オゼロ」という教材への評価は、それだけ高いものである”

という事だけは、ここで今一度、強調させていただきます。

他でも無く、その教材内容に対して、今まで一切行っていなかった事を、こうして行うだけの価値を、私自身が率直に感じ得たという事です。

そして、今回は、ここまでの大々的なオファーに見合うだけの「私からの提供コンテンツ」の方も、この「オゼロ」の購入者特典として、別途ご用意してあります。

この「オゼロ」という教材のみであれば、そのセールスレターをすぐにでもご覧頂き、購入を判断頂ければ問題ないものですが、この案内資料では『私から提供させて頂くコンテンツの案内』も兼ねて、その詳細をご案内していきますので、

“私、宇崎がどんなコンテンツをその教材の特典として用意したのか”

というところも、そのご購入を検討頂く上での1つの判断材料にして頂ければと思います。

「才ゼロ」という教材が掲げる「文才ゼロから始める Web 記事執筆術」とは何か。

今回、ここで取り上げる「才ゼロ」という教材は「文才ゼロから始める Web 記事執筆術」というものを掲げている教材であり、筆者の方は、これを「コピーライティングとは別モノ」という位置付けで提唱しています。

『コピーライティングというスキルの「手前」にある文章を書く為の原理原則』

これが筆者の方が掲げるメインテーマであり、その執筆術を文字通り「0（ゼロ）」から高めていく事を目的とした教材。

それが、この「才ゼロ（文才ゼロから始める Web 記事執筆術講座）」という教材です。

ただ、人並み以上にコピーライティングを突き詰めている自負がある私にとっては、この「才ゼロ」の教材内容で提唱する「執筆術」は、

“コピーライティングの手前にあるものだからこそ、コピーライティングを学び、そのスキルを身に付ける上で必要不可欠なスキルである”

と思いました。

例えば、算数の「足し算」が分からなければ、「掛け算」「割り算」の原理原則を理解する事は出来ません。

それと同じように、コピーライティングの原理を理解し、それを存分に使いこなすには、その「手前」にあるスキルの習得も必要不可欠だと思うのです。

そして、その「コピーライティングの手前にあるスキル」は、私自身も、自身の教材を購入して下さった購入者様とのやりとりや、実際にそのような方々の文章の添削、その文章へのアドバイス等をしていく中で、その「必要性」をひしひしと感じているものでもありました。

実際に、初めてブログに記事を書くような初心者の方や、アフィリエイトで全く成果を出せていない人は、ほぼ例外なくその「コピーライティングの手前にあるスキル」が欠けている傾向にあったからです。

尚、その「手前のスキル」というものに、明確な「線引き」をするなら、コピーライティングが『人を動かしていく文章のスキル』『商品を購入するという行動を引き起こす為の文章術』である事に対して、この「オゼロ」で提唱されているものは、まさにその「手前」にある、

『自分の伝えたい事を分かり易く伝えていく為のスキル』

『それを正しく伝えていく為の文章術』

と言っていると思います。

つまり、私が実際に添削やアドバイスをしてきた多くの「駆け出しのブロガー」「稼ぐ事が出来ていないアフィリエイト」に該当する方々は、コピーライティングのスキル以前の問題として、伝えたい事をしっかりと伝えられる、分かり易い文章、読みやすい文章を書く事が、そもそも出来ていないというのが現実だったのです。

根本として、自分が伝えたい事を正しく伝えられなければ、そこにどんなテクニックを駆使して、読み手に行動を促し、商品等売り込もうとしても、売れていくはずがありません。

故に私自身、人を行動させる為の文章術を教示する「コピーライティングの教材」を数千人の方に販売し、その多くの購入者様の文章を実際に見てきた中で、その「手前にある文章執筆術」を「ゼロの視点」から解説、講義していく必要性は、現実として少なからず感じているところでした。

ある意味、「コピーライティングの教材」としてのクオリティに拘るあまり、結果として「疎か」になってしまったのかもしれないポイントが、まさにこの「ゼロからの視点」を前提にしたコピーライティングというスキルの「手前」にあるとされる文章執筆術だったわけです。

そんな「ゼロ視点」からの文章執筆術を、文字通り「0」から学べる文章講座。

この資料は、ミリオンライティングをまだ購入されていない方も見られている可能性があります。この「才ゼロ」の講座内容は、ミリオンライティングの講座内容に比べ、遥かにその内容を理解しやすく、また、その文章術自体もすぐに実践で活用頂けるものになっていると思います。

ただ、これはそれぞれの教材におけるマニュアルそのものの分かり易さがどうという事ではありません。

例えば私のミリオンライティングは、まさに「コピーライティング」に特化した『人を動かす為の文章術を学べる教材』である事から、その内容の分かり易さ、丁寧さとは無関係な観点で、その活用にはそれなりのハードルが伴います。

その理屈やノウハウを、ただ頭で「理解」する事と、その「実践」は別モノだからであり、その理屈を文章に反映させていく事は、決して「容易」ではないからです。（そう容易に「売れる文章」が書けるのであれば、アフィリエイトなどで稼ぐ事などに誰も苦勞はしないはずです。）

対して、この「才ゼロ」の教材で学べる文章術は、多くの人が日常的に「会話」や「対話」の中で使っている「当たり前の言葉の原則」がベースとなるものであり、その多くは決して「これまで触れた事の無いような文章の原則や構成テクニック」を新たに習得しなければならないようなものではありません。

言わば、普段使っている言葉、文章で、いかに読みやすく、分かり易い文章を書いていくか、その具体的な方法、視点、考え方、その思考を整理していく為の講座と断言していいと思います。

捉えようによっては「当たり前の言葉の原則」なのですが、事実、その「当たり前の原則」を、いざ文章を書くという行為において「押さえられない人」「押さえる事が出来ていない人」が非常に多いのです。

一生懸命ブログに記事を投稿していったのに、一向にモノが売れていかない・・・このような状況に陥っている人の9割は、実際に書いている文章において、その「当たり前の言葉の原則」を押さえる事が出来ていないと考えていいと思います。

そのような状況で、どんなにコピーライティングのテクニックを文章に織り込んでいっても、それが「言葉のテクニック」である以上は、根本として「伝えたい事」が伝わらなければ意味がありません。

ただ、この「オゼロ」の文章術講座では、そんな多くの人が「分かりにくい文章」「伝わらない文章」を書いてしまうポイントを極めて的確に紐解き、その「当たり前の言葉の原則」を押さえられない要因を明確にした上で、それを改善する為の具体的なポイント等も非常に落とし込みやすく解説しています。

私のミリオンライティングが『反応を生み出す為の文章の書き方を示す教材』であるとするなら、この「オゼロ」は『反応を生み出せない文章を書いてしまう要因、原因を追究し、それを完全に排除していく事に重点を置いている教材』というのが適切だと思います。

まさに私が幾度とミリオンライティングの購入者様の文章に対して、添削、指摘を繰り返してきた要素が、その要因、原因と共に解説され、その改善を図る為の講義が詰め込まれている教材であるという事です。

ただ、この教材は、そのような「当たり前の言葉の原則」のみが淡々と講義されているのではなく、

“その「当たり前の言葉の原則」のみを押さえた文章で、いかに「成果（結果）」を上げていくか。”

という視点で解説されているだけでなく、その講座の目指すべき方向性は、しっかりと「ウェブビジネス」「アフィリエイト」などで、成果を上げていく事に向けられている為、極めて実践的な講義内容になっていると言えます。

先程の「算数の例え」を今一度持ち出すなら、このオゼロの文章術講座は「足し算」「引き算」と言った基本的な原則のみを押さえた文章で、いかに結果を出していくかを追及しているわけです。

まさに「ゼロからのスタート」となるようなコピーライティングというスキルを学ぶ以前の段階にある多くの初心者層にとっては“即”そのまま有効に活用していける文章術講座であるという事です。

アフィリエイトに必要不可欠な視点『時間軸と需要の関係をつえた文章執筆術』

また「オゼロ」には、アフィリエイトには『必要不可欠な視点』と言える、

“時間軸と需要の関係をつえた文章の書き方”

が、私から見ても非常に秀逸な切り口、展開で講義されています。

アフィリエイトなどがブログに記事を書いていく際、そこで扱っていくネタ、テーマが「速さ」を求められている情報なのか（早い情報）、「詳しく」を求められている情報なのか（詳しい情報）、もしくは「面白さ」を求められている情報なのか（面白い情報）。

その記事のネタ、テーマを上記のような

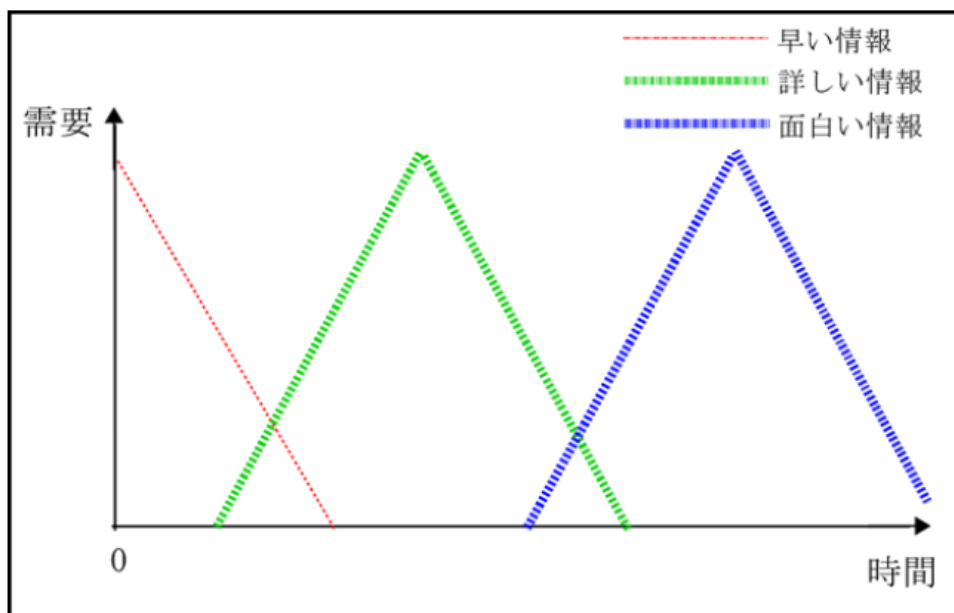
「早い情報（速さが重要な情報）」

「詳しい情報（詳しくが重要な情報）」

「面白い情報（面白さが重要な情報）」

に分類し、それぞれの情報に対しての「時間軸と需要の関係」をつえた上で『どういった記事の書き方にするべきか』を、具体的な例文や以下のような相関図交えて非常に詳しく解説してくれている為、私自身これは非常に実用性の高い講義になっていると思いました。

<時間の経過で需要が変わる3つの情報 イメージ図>



まさにこの講義は、

「どのような情報をどのように伝えるべきか」

という視点の講義内容になっていますので、この「オゼロ」という教材の講義内容は、ここでお伝えしたような「文章を書きはじめる前段階」における非常に重要な『視点』なども、しっかりと落とし込んでいけるものになっているという事です。

少なくとも、この講義内容をしっかりと落とし込み、これを意識して記事を書いていくようにするだけでも、“訪問者のニーズに沿った記事の書き方”が、自然と身に付いていく事になる為、それはアフィリエイトとしての成果や、そのブログの集客力、反応を格段に高めていく事にも繋がっていくはずですよ。

このような「非常に実用性の高い講義が展開されている」という点も含め、私自身、この『オゼロ』における「ゼロ視点」を前提とする文章術講義の数々は、現在私が公開している各教材プログラムの方へすぐにでも取り入れていきたい・・・と、率直にそう思ったほどでした。

そして、そんな非常に良質な「ゼロ視点」からの文章術講義が展開されている、この「オゼロ」という教材ですが、その教材構成は、「全7編628Pのテキスト講座形式」という形になっています。

実質的な文章量としては18万字相当（私のミリオンライティングで文字数的には11万字ほどです）ですので、私の教材のボリュームを基準に考えて頂ければ、そのボリューム感は概ねイメージして頂けるかと思います。

これだけの容量の文章術講義を「ゼロ視点」を前提とした『コピーライティングの手前にある文章術講義』のみに特化して展開しているのですから、この「情報量（ボリューム）」という要素1つを取ってみて頂いても、十分にその講義内容の「手厚さ」は、少なからずお分かり頂けるはず。

ただ、それでもこの「オゼロ」というマニュアルには、私がこうして私自身のメルマガ読者や教材購入者にお勧めする上では、1つだけ「ネック」となる部分がありました。

それは・・・この「オゼロ」という教材における **「価格」** です。

この教材の「唯一のネック」は『価格』・・・でした。

率直にその「価格」を言うと、この「オゼロ」は15000円という価格で公開されています。

情報商材としては一般的な価格だと思いますし、巷に溢れる15000円代のネットビジネス関連の情報商材と比較するなら、そのボリュームも、内容も、その質についても格段にその水準を大きく超えているものになっていると捉えても全く問題の無い教材です。

ですが、やはり同じ「文章の書き方」というものをテーマに掲げ、その為の教材を世に出している私として、その「価格帯の基準」はどうしても、私自身が販促している、私自身の教材内容とその価格を基準に考えるより仕方ありません。

少なくとも、その私が「推奨」して、メルマガの読者さんやその教材の購入者さんに勧めるのですから、「私の教材を手にとれる環境にある読者様」「私の教材を実際に手にしたお客様」において言えば、私自身が販促している教材こそが、その内容と価格の1つの基準になる事が必然的であるからです。

ただ、そのように考える場合、私のコピーライティング教材「The Million Writing（ミリオンライティング）」が約11万文字のボリュームと3980円という価格帯である事を考慮し、更にその「質」を併せて考慮していくと、この「オゼロ」という教材の『15000円』という価格帯は、やはりどうしても「割高」に感じられてしまいます。

勿論、その教材内容に対して「どれくらいの価値を感じるか」は、それこそ人それぞれのスキルや感覚によっても大きく変わるものですが、それを吟味しても、

11万文字相当のコピーライティング講座：3,980円

18万文字相当のその手前段階にあるゼロ視点からの文章術講座：15,000円

ミリオンライティングという教材の「質の高さ」は、実際の購入者様が認識されている通りだと思いますが、いかにこの「オゼロ」の講座内容の質が高いと言っても、この「1万円以上もの価格差」「3倍以上もの価格差」を埋められるだけの価値が「オゼロ」という教材にあるかどうか。

言わば、ミリオンライティングに対して3倍もの価値を感じてもらえるか、という視点でこの「オゼロ」という教材の「価格」を考慮すると、それはさすがに「難しい（厳しい）」のではないかと思います。

勿論、これは私が自身の教材の「内容」と「質」に絶対の自信を持っている事もあるかと思いますが、講義内容そのものに約1.5倍少しのボリュームがあるところを加味しても「3倍の価値を認識してもらおう（与える）」というところまでは、どう考慮しても『至らない』と判断致しました。

とはいえ、この判断はあくまでも「オゼロ」が重点的に扱っている「その手前の文章術は十分なレベルでマスターしている」と言っても過言ではない、私の視点による判断でしかありません。

つまり、本当にその「ゼロ視点」が必要な初心者と言える段階にある大半の人には、この「オゼロ」の講義内容尾こそが即戦力として役立ち余地、実用性がある余地は多いにあると考えられます。

そして何より、この「オゼロ」における『ゼロ視点を前提としたその手前段階の文章術講座』の内容を落とし込んでこそ、私の「ミリオンライティング」における「コピーライティングスキル」のポテンシャルを、より高く発揮出来るという点が、私としては非常に「大きい」と思います。

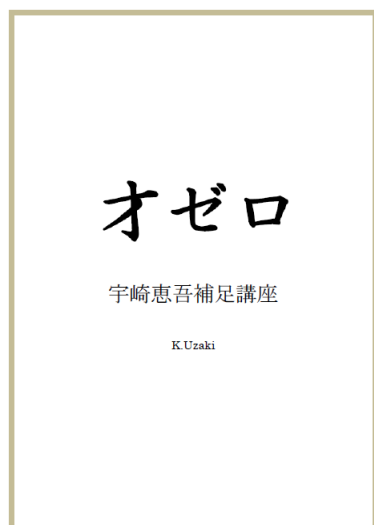
こうした私の「ミリオンライティング」という教材の「価値」をより高め、そのポテンシャルをより高く引き出して頂ける事を考慮するなら、その「割高な価格」を前提とした上でも「この教材を手にとって頂く価値」や「必要性」は『十分にある』と、私はそう判断しました。

ただ、私が販売している「ミリオンライティング」に比べ、この「オゼロ」という教材が「1つの教材」として「割高な価格である事実」に変わりはありません。

そこで、その「価格差」については、私の方から『購入特典』という形で別途、独自のオリジナルコンテンツを、この「オゼロ」にお付けして提供していく形でしっかりと埋めさせて頂こうと思いました。

そのような判断から、私自身が早速、執筆に取り掛かり、書き上げさせて頂いた特典コンテンツ、それが今回、私から提供させて頂く『オゼロ強化マニュアル「宇崎恵吾補足講座」』になります。

オゼロ強化マニュアル「宇崎恵吾補足講座」



私の方で「特定の情報商材」に個別のオリジナルコンテンツを付けるのは、実はこの「オゼロ」が『初』である事から、

“他者のライティング教材に私が補足担うライティング講座をコンテンツ化し、お付けする事”

も、当然ながら「史上初」という事になります。

それをするに見合うだけの教材、それをするだけの価値がある感じる教材が、これまで「無かった事」が、一番のその要因であり、事実『よほどの教材』でなければ、そうそうこのような個別の補足講座をコンテンツ化しようとは考えません。

基本的に、ライティングを題材とする教材、コンテンツであれば、私の方で独自に作成し、発表していく事が出来るからです。

ただ、今回の「オゼロ」はその完成度が極めて高いライティング教材であり、まさに『よほどの教材』であった事から、素直にこれをそのままご紹介する形を取り、そこに「補足講座」をコンテンツ化したものを提供すれば、十分にその「価格」に見合うだけの価値を提供出来ると思ひ、こうして「補足講座の作成」に力を注がせて頂いた次第です。

とは言え、例え「特典」という形を担うコンテンツであっても、お金を頂いてお支払い頂いて手に取って頂くコンテンツである以上、半端なコンテンツを提供するわけにはいきません。

例えどういう形で提供するものであっても、お金をお支払い頂く以上は、『そのお支払い頂くお金以上の「圧倒的な価値」や「学び」を得られるコンテンツで無ければならない』というのが、情報提供者としての私の絶対的な“信条”だからです。

それ故に、今回のコンテンツの作成にあたっては、私は一切の妥協をせずに本気でコンテンツを作り込ませて頂きました。

その作成にあたっては『師匠の助言、アドバイス、添削』なども受けながら「これ以上のものは、どのコピーライター、アフィリエイトも絶対に作れないだろう」と言えるだけの“特典教材”を作り上げる事が出来たと思います。

ページ数にして90P（当然、私が作るコンテンツですので、この資料のようにギッシリとテキスト（文章）が詰め込まれた濃厚な90Pです。）ほどの補足講座になりますが、600Pを超える「オゼロ」の本編講座を、より深く、洗練された形で、ご自身の中に落とし込んで頂ける内容になっているはずですよ。

ただ、このような「この特典教材によってこうなれる」という、今の段階では確信のしようがない漠然とした「結果論のみのベネフィット」を並べても、私のコピーライティング講座で目が肥えてしまったあなたには、もう響かないようになってしまっているのではないのでしょうか。

“何を学び、落とし込んでいけば、そのような結果を実際に手にしていく事が出来るのか。”

それを認識してこそ、あなたがこの「オゼロ」という教材、及び私の特典教材を手にして得られるものを、より鮮明にイメージして頂けるのではないかと思います。

そんな、この特典講座の詳細は、以下のような講座内容になっています。

・記事にするべき情報、してはならない情報、その見解における重要な補足

才ゼロの本編講座では、ブログ等の記事で扱うべき情報についての講義があり、「記事にするべき情報」と、「そうではない情報」に明確な一線を引いています。

これはブログに対して記事を書いていく事や、結果（収入）を求めて文章を書いていく上で、非常に重要な、原則的な視点、考え方になるのですが、その講義内容における線引き、その考え方については、幾つか補足が必要な点が見受けられました。

本来記事にする事で、十分に結果を見込んでいく事が出来るものを「記事にしてはならない」と線引きしてしまっている内容があり、この部分は一般的にも「そう思われている節」がある為、私の方で『その線引き内の情報』の記事にする上でのポイント、考え方、方法を補足しておきました。

この補足講義の内容を落とし込んで頂くだけでも、今後、あなたがブログ等において、実際に記事に出来る情報の幅は大きく広がり、その記事の質、ボリューム等についても大きな向上図っていく事が出来るはずです。

・ターゲット、テーマ、内容を問わず絶対にやるべきではない事

文章を書いていく上で「ターゲット」（誰に対して文章を書くか）という視点は非常に重要であり、才ゼロの本編講座では、この「ターゲット」に対しての「文章の書き方」や「その考え方」などについても、幾つかの視点を交えて重点的に解説されています。

これは「ゼロ視点からの文章術」を前提とするからこそ、その原則的な考え方が非常に重要になるポイントでもあります。

ただ、その中に含まれる「特定のターゲット層」に対しての条件に応じた記事（文章）の構成テクニックにおいて、「必ずしもその構成が適切ではない」と考えられる内容が見受けられましたので、ここではその補足講義を追記しています。

この補足事項における「認識」や「捉え方」が抜けてしまうだけでも、その「適切ではない構成」で文章を書いてしまう恐れがありますので、このポイントは押さえて頂く必要があると感じました。

逆にこの認識を改めて頂くだけで、そのターゲット層における「記事の構成力」は、格段に引き上げられると思います。

・説得力のある文章の書き方における重要な補足事項とその例外

文章における「説得力」という要素は、実際に文章を駆使して、ビジネスというフィールドで結果を出していく上では“必要不可欠である”と言えます。

才ゼロでは、当然、この「説得力」という要素にもスポットを当てて、「ゼロ視点」から、いかに説得力のある文章を作り、構成していくかという講義も展開されているのですが、一点、そこに『この講座内容では明らかに不十分である』と感じられる講義内容が含まれていましたので、ここでは、その補足を重点的に行っています。

言わば、その「説得力のある文章」を観点とする上での『例外的な要素』が講義の中で取り上げられていなかったというものになります。この「例外的要素」が極めて重要なポイントでもありますので、『説得力のある文章を抜け目なく書けるスキル』をしっかりと身に付ける上でも、この補足ポイントはしっかりと押さえていくようにしてください。

・検索エンジン対策において絶対に拘るべき記事の構成要素

文章を書いていく行為によって「結果（収入）」を求めていく以上、切っても切り離せないのは検索エンジンを意識した文章構成、記事構成であり『自身が書いた文章（コンテンツ）が検索エンジンに好まれる事』は、そこに結果を求めていく上で、決して無視するべきではない要素であると言えます。

才ゼロは、あくまでも「結果（収入）」を追及する為の文章術講座でもある為、この『検索エンジンを意識した文章（記事）の書き方』という要素もポイントとして押さえながら講義されていますが、この部分についても「グーグルの現状と今後の進化」を前提として捉えるのであれば“明らかに補足が必要である”と思われる部分が見受けられました。

本編で展開されている講義内容の大半は決して「小手先レベル」のものではなく、グーグルの本質、とも言える「ユーザー（訪問者）の視点」を前提にした、しっかりとした講義内容になっていますが、そうであるからこそ、私の補足講義は、非常に重要な意味を持つ内容になっていると思います。

少なくとも、私の方で補足した内容を少し意識し、また押さえていくだけで、検索エンジンから、あなたのブログ、サイト、記事が評価される可能性、優遇される可能性は格段に高められるはずですので、集客を意識した『検索エンジンのツボ』を押さえる記事の構成、文章に苦手意識があるようであれば、この補足講義は本編の講義内容と併せて大きな「即戦力」になるはずです。

・あらゆるテーマの記事の適応できる「最善の記事構成」とその補足

才ゼロでは、「初心者でも分かり易く、説得力のある記事（文章）を構成出来るテクニック」としてどのようなテーマの記事（文章）を構成する上でも、そのまま利用していく事が出来る『独自の記事構成における型』を提唱しています。

これは決して「テンプレート」のようなインスタントなものではなく、あくまでも記事の流れ、構成の「指標」になるものであり、その型そのものの構成は、訪問者の心理、反応を考察する上で、その「本質」をしっかりと押さえる事が出来る有効なものになっていると思いました。

ですが、このような「型」を用いていく上で絶対に疎かにするべきではない視点、ポイントが幾つか存在しますので、ここではその部分を重点的に補足しています。

読み手目線で記事を構成するべきだからこそ、このような『型』を指標に記事（文章）を構成していく際は、ここで補足しているポイントが非常に重要な役割を果たしていきますので、あなたが、ある程度このような「指標になる型」を前提に記事を構成していくのであれば、この補足講義における視点、ポイントは絶対に押さえておいてください。

それが結果的に記事全体の質の高さそのものに、非常に大きな影響を及ぼしていく事になります。

・記事の5段階構成に大きく欠けている重要な要素と、その視点について

ここでは才ゼロ本編において提唱されている、その『記事の型』について、その型を構成する全5段階の構成要素1つ1つに対して、その型をより有効に活かして記事（文章）を構成していく為の補足講義を加えています。

これはおそらく才ゼロの筆者ご本人も気付いていないと思われる「この型で記事を構成する上での注意点」や「この型で記事を構成する上でより反応を高める為のポイント」等を講義していますので、ある意味、才ゼロという教材から引き出せるポテンシャル（価値）を最も大きく引き出し、その伸び白を伸ばせる余地が大きいのはこの補足講義になるかもしれません。

容量的にも最もページ数を多く割いて、5段階の要素に対して1つ1つ『補強ポイント』を加えていますので、ここで講義されている補足講義の内容をくまなく押さえていく事で、実際にこの型に沿って構成していく記事、文章の純粋な「反応」は悠に「数倍」は変わってくると思います。

仮にリンク誘導率3%という記事があれば、6%、9%まで変わる余地もあるという事です

・記事を執筆する6つの手順における補足講義

才ゼロでは、記事（文章）を構成する為の指標となる「型」とは別に、実際に記事（文章）を書いていく際の「物理的な工程」という意味合いでの「記事作成（文章作成）の流れ」についての講義も、かなり具体的な工程を細分化した上で、順を追って解説されています。

そこでは、実際に記事を書き上げるまでの手順を「6つ」に分類しているのですが、この記事（文章）作成の流れは、記事のターゲット、テーマ、目的、また実際に記事を書く人の「適正」によっては、それが「良い記事を書き上げやすい流れ」になる場合もあれば、必ずしもそうとはならない可能性があり、ここではその補足を加える必要性を非常に強く感じました。

また、その流れの中においても、意識1つで「実際に書き上げられる文章の質」や、その「反応」が大きく変わってくる可能性の高いポイントも見受けられた為、そこへの補足を加えています。

ここで講義されている内容はあくまでも『物理的な記事の執筆工程』の「流れ」についてですが、この「流れ」こそが、実際の記事の質、反応を大きく左右していく余地、その可能性を秘めている為、「ブログの方針」「ターゲット」「目的」によっては、かなり重要度の高い講義内容になっていると捉えてください。

・商品の短所を伝える文章に「欠けている要素」とその補足講義

また、才ゼロでは「商品を紹介（アフィリエイト）していく為の文章の書き方」についても、教材の「ゼロ視点」というコンセプトをブラス事なく、初心者が商品の紹介文等においてやってしまいがちな「反応を下げてしまう要素」を根本から排除し、あくまでも「ナチュラル」に、その商品の魅力をアピールし、成約に導く為の文章術が講義されています。

その講義内容の大半は、「ゼロ視点」という前提において、ほぼ補足が必要の無いレベルの講義内容であり、ここに私が「ミリオンライティング」等で提唱している『セールスの為のコピーライティングスキル』を加えていけば、『商品を成約する為の文章』は、非常に高い精度で書き上げていく事が出来るようになるのではないかと思います。

ただ、そこに一点、補足が必要だと感じたのは「商品の短所（デメリット）を伝える文章の書き方」についてであり、ここに関してはやや「筆者の主観に基づく偏り」が見られました。

その記事（文章）における成約率を大きく左右する重要な要素でもありますので、ここは私の補足ポイントをしっかりと押さえていくようにしてください。

・自己アピール文における「反感要素」と「共感要素」について

才ゼロでは、ゼロ視点からの文章執筆における「原理原則」を押さえながらも、そこに「自分なりの色」を加えていった上で『独自性を感じさせる文章』を執筆していく方法、テクニック等も講義されています。

これは言わば『独自性を感じさせる文章』によって「ファン」を獲得し、コアな見込み客を増やしていく為の「ブランディングを兼ねた文章術」であると言えますが、ここはやや「ゼロ視点」のみに視点を落とし過ぎているが故に、もう一歩踏み込んだ講義の必要性を感じるどころが見受けられました。

ファンを獲得し、文章の反応を高めていく上で「文章の独自性」は重要ですが、そこにはある程度共通した「誰もが共感を覚えやすい文章」とその書き方や、「例え全く感性が合わない人にも反感を感じさせない文章」とその書き方がありますので、ここでは『決して反感を抱かせる事なく、多くの人に共感される文章の書き方』をかなり踏み込んで講義しています。

この部分の補足講義は、私の「師匠」の方にベースとなる講義原稿を頂いた上で、私がそれに肉付けし、また改めて師匠に最終的な補足、添削をお願いした為、私が読み返しても、思わず感服してしまうほど、本当に「レベル」と「質」の高い補足講義です。

ただ、この内容をしっかりと落とし込んで文章を書けるようになるだけで、あなたのブログやメールマガジンの「反応」は格段に高くなるはずですので、是非、心して頭に叩き込んでください。

私個人としては、最も多くの人に「読ませたい」補足講義です。

・長文の記事における「構成」について

記事における反応、検索エンジン対策、あらゆる点において、長文の記事に際して「有利」として
いる記事の構成と、その構成を担う「要素」等が講義されている講義内容において、やや実際の有効性に補足が必要なポイントが見受けられました。

それが長文の記事であればこそ、有効になるポイントと、長文の記事であっても『決しない構成すべきではない』
と考えられるポイントをその理由、根拠、考え方と併せて補足を加えています。

長文となる記事、文章だからこそ、その構成は非常に重要になりますので、このポイントも、しっかりと押さえておいてください。

以上、各講義のページ構成としては以下の写しの通りです。

CONTENTS	
・はじめに	4
・記事にすべき情報、してはならない情報、その見解における重要な補足	5
・ターゲット、テーマ、内容を問わず「絶対にやるべきではない事」	12
・説得力のある文章の書き方における重要な補足事項とその「例外」	15
・検索エンジン対策において「絶対的に拘るべき記事の構成要素」	23
・あらゆるテーマの記事の適応できる「最善の記事構成」とその補足	32
・記事の5段構成に大きく欠けている重要な要素と「視点」について	40
・記事を執筆する6つの手順の補足「改善」講義	53
・商品の短所を伝える文章に「欠けている要素」とその補足講義	75
・自己アピール文における「反感要素」と「共感要素」について	80
・長文における「構成」について	86
・最後に	89

私の方から提供させて頂く「オゼロ」の補足講義では、上記のような講義内容になっています。

私個人としては全600Pものボリュームがあるライティング教材で、かなり厳しく内容を吟味した上でも、そこに「補足が必要」と判断した項目が

『これしか無かった』

という印象が強く、この事はまさに、この「オゼロ」という教材の“クオリティの高さの再確認に改めて繋がった”と感じています。

事実、オゼロのマニュアル内において、その補足講義の対象となったものは、ページ数で言って100～150ページ分に相当する容量がせいぜいですので、残り400～500Pほどの内容は補足の必要も無く、そのまま落とし込んでも全く問題の無い講義内容であったという事です。

とは言え、私から提供する90Pほどの補足講座の内容は、非常にその重要度、密度の高いものになっていると思いますので、私の補足講座の内容を併せて落とし込む事を「する」か「しない」かだけでも、この「オゼロ」で得られるノウハウの実用において、あなたが実際に書いていく文章の「質」は、そのまま格段に大きく変わってくると思います。

それは言わば、あなたが今後、ブログ、メルマガ等に公開していく文章の「精度」そのものを大きく左右するという事であり、その文章から生み出す事の出来る「反応そのもの」「成果そのもの」「結果そのもの」を大きく左右していく事にも、ほぼそのまま繋がってくるのです。

そういった意味でも、今回、私の方で作成させて頂いた「特典教材」は、「オゼロ」という教材そのものの価値（支払った代金に対してあなたが得られる「スキル」、結果という形の「対価」）を、悠に『数倍』は引き上げられるものになった自負があります。

それだけ、この90Pの補足講座を兼ねた特典教材の内容は、

『極めて重要性の高い内容のみが凝縮されたライティング講座になっている』

という事です。

[文才ゼロからの Web 記事執筆術講座「オゼロ」＋「宇崎恵吾補足講座」はこちらから](#)

以上、今回、私の方からお伝えしたかった事は、ここまでの内容でほぼお伝え出来たかと思しますので、“あとはあなたがこの「オゼロ」という教材に必要性、価値を感じるかどうか”だと思います。

私から提供させて頂く「特典教材」の内容、詳細については既にここでお伝えした通りですので、あとは一度、「オゼロ」のセールスレターの方をご覧になってみてください。

そのセールスレターの内容も含めて、あなたがそこに必要性、価値を感じられたなら、その教材内容は実質的セールスレターで感じ取れるもの以上に本当に『間違いないもの』ですので、是非、手に取って頂ければと思います。(勿論、私のこの紹介文だけで既に「購入の意思」を固められているようであれば、ほぼ直行でご購入頂いても構いません。笑)

文才ゼロからの Web 記事執筆術講座「オゼロ」の購入はこちらから

<http://www.infotop.jp/click.php?aid=206249&iid=62281&pfg=1>

上記URLを介してご購入頂ければ私からの特典教材「宇崎恵吾補足講座」の方も、併せてダウンロード頂けるようになっています。

ちなみに、オゼロのセールスレターに以下のような一文があります。

オゼロ販売ページより引用：<http://www.infotop.jp/click.php?aid=206249&iid=62281&pfg=1>

オゼロを世に出したとき、文章をスラスラと書ける上級者から笑い飛ばされました。

教材の中身を一切見ずに。

「また怪しいの出てきたよ(笑)」

「なんだこれ、売れないだろ」

「文章の基礎なんかよりコピーライティングっしょ」

私は彼らの言葉を聞いて悲しくなりました。

私の教材が笑われたからではありません。

もう一度、上記で紹介した初心者さんの声を見てください。

……絶賛です。

たくさんの感謝とお褒めの言葉をいただきました。

上級者に笑われた私の教材は、初心者さんが本当に求めた教材でした。

ここに書かれている「紹介した初心者さんの声」にあたるものは、セールスレターの方に「テキスト形式のもの」から、肉声の「音声ファイル」まで紹介されていますので、そちらを実際にご確認頂ければと思いますが、ここに書いてある事は、私は本当に全て『事実』だと思います。

「文章というものに対する知識、経験がほぼゼロの段階にある」

「文章を書くという事に、実際に今の段階で悩みを抱えている」

「文章をどんなに一生懸命書いても、それが結果に繋がっていない」

この教材は、このような状況にある人にとっては本当に「必要な事」「必要不可欠な事」だけが凝縮されているものであり、まさに上記に該当する全ての人に、私は本心で手に取ってもらいたい教材です。

だからこそ、私はこの教材を世に広める事に貢献しようと思い、実際に先ほどご案内したような「特典教材」までを、文字通り「全力」で手掛けさせて頂いたのです。

それこそ、この「オゼロ」という教材は、正直言って、その紹介報酬（アフィリエイト報酬）がそこまで高い情報商材などではありません。

ですので、単純に私が「アフィリエイト」として紹介に力を入れ、多くの収入を稼ぎたいだけなら、もっと「身入り」の大きい情報商材が他に幾らでもあるという事です。

その中で、あえてこの「オゼロ」という教材を、こうまでして紹介しているのは、私がただ純粋にこの教材の「内容」を評価しているからであり、私は本心で、他でも無い「あなた」にこそ、この教材を手にして欲しいと思っています。

この教材を手にとって頂く事が、あなた自身の「文章スキルの向上」に繋がり、あなたのそのスキルが向上していく事は、私が今現在提供しているコピーライティングのノウハウや教材、今後ご案内していきたいと考えている情報や教材を、より有益に、有意義にご活用頂ける事にも繋がっていくと思っていますからです。

実際に私が「コピーライティング至上主義者の会」というブログをやっているのも、「文章の力」「コピーライティングの可能性」を強く認識して頂き、それに見合うスキルを持った人達に集まって頂く事、そして、そんな方々と本当に有益な情報共有していきたいと思っていますのが本心です。

その「目的の促進」において、この「オゼロ」という教材をあなたに手に取って頂く事は、私自身、本当に「意味がある事」だと思っていますので、あとは、あなた自身が最後にその「必要性」「価値」を判断してみてください。

文オゼロからの Web 記事執筆術講座「オゼロ」の購入はこちらから

<http://www.infotop.jp/click.php?aid=206249&iid=62281&pfg=1>

上記URLを介してご購入頂ければ私からの特典教材「宇崎恵吾補足講座」の方も、併せてダウンロード頂けるようになっています。

今回はこちらの教材をご紹介する旨を主とする紹介文のご案内となりましたが、こうして最後までお読み頂けたことに感謝いたします。

ありがとうございました。

コピーライティング至上主義者の会 宇崎恵吾